

淡路島日本遺産展

古代淡路島の海人と交流

— 青銅・鉄・朱・塩 —

令和元年 11月9日(土)～令和2年 3月1日(日)



下内膳遺跡(洲本市)出土籐状文壺
(兵庫県立考古博物館蔵)



伝 南あわじ市慶野出土袈裟褌文銅鐺
(慶野地区蔵 国指定文化財)



五斗長垣内遺跡(淡路市)出土板状鉄斧
(淡路市教育委員会蔵 兵庫県指定文化財)

洲本市立 淡路文化史料館

開館時間/9:00～17:00(入館は16:30まで) 休館日/月曜日(※祝休日の場合は翌火・水曜日休館) 入館料/500円(一般)※通常入館料

主催/兵庫県立考古博物館 淡路島日本遺産委員会 (構成団体:洲本市・洲本市教育委員会・南あわじ市・南あわじ市教育委員会・淡路市・淡路市教育委員会・淡路県民局・(一財)淡路島くふう協会・(一社)淡路島観光協会・(一社)淡路青年会議所)

後援/兵庫県 兵庫県教育委員会 兵庫県立歴史博物館ひょうご歴史研究室

古代淡路島の海人と交流 —青銅・鉄・朱・塩—

日本遺産の島、淡路島は古来より海人が活躍する舞台でした。近年の発掘調査によって明らかとなった古代の海人の果たした役割に迫ります。



入田稲荷前遺跡(南あわじ市)出土貨泉(南あわじ市教育委員会蔵)



下加茂遺跡(洲本市)出土木製彩色横杓子(兵庫県立考古博物館蔵 兵庫県指定文化財)



二ツ石戎ノ前遺跡(洲本市)出土石杵(兵庫県立考古博物館蔵)



引野遺跡(淡路市)出土製塩土器(淡路市教育委員会蔵)

●関連事業

令和元年12月14日(土) 14:00~15:30 講演会「ようこそ!朱と神仙の世界へ—朱を磨る弥生人の事情を考える—」

講師: 上田健太郎(兵庫県立考古博物館学芸員)
会場: 洲本市立淡路文化史料館 定員: 100名 聴講料: 無料

令和2年2月1日(土) 13:00~16:30

ひょうご歴史研究室 in 淡路島+淡路島日本遺産海人の調査研究事業(Ⅲ) シンポジウム「古墳時代の淡路島と大阪湾岸 ~海人の生業・習俗・地域間交流~」

講演: 和田晴吾(兵庫県立考古博物館長)「漁具からみた大阪湾岸と淡路島の海人」
坂江 渉(ひょうご歴史研究室コーディネーター)「記紀の『樟根津日子』伝承と大阪湾岸のウミガメ」
パネリスト: 和田晴吾/坂江 渉/金田匡史(洲本市教育委員会)

会場: 洲本市文化体育館 文化ホール
主催: 兵庫県立歴史博物館ひょうご歴史研究室 淡路島日本遺産委員会
後援: 兵庫県立考古博物館 入場料: 無料
問合せ先: 兵庫県立歴史博物館ひょうご歴史研究室 TEL.079-288-9011

●サテライト展示

1 淡路市 「舟木遺跡から甦る古代淡路島の海人」

内容: 舟木遺跡の調査成果から、淡路島を拠点とする海人とよばれた人々と弥生後期の巨大山間地集落との関係に迫る。
主催: 淡路島日本遺産委員会 淡路市教育委員会
会場: 五斗長垣内遺跡 活用拠点施設(淡路市黒谷1395-3 TEL.0799-70-4217)
期間: 令和元年11月9日(土)~令和2年3月1日(日)
開館時間: 9:00~17:00(月曜日休館 ※祝休日の場合は翌平日) 入館料: 無料

2 南あわじ市 「南あわじ市発掘調査速報展—平成29・30年度調査—」

内容: 南あわじ市内の養宜地区と国衙地区で行った発掘調査成果を展示する。
主催: 淡路島日本遺産委員会 南あわじ市教育委員会
会場及び期間
① 広田地区公民館(南あわじ市広田広田1057-1 TEL.0799-44-3008)
令和2年1月11日(土)~2月9日(日)(会期中無休)
開館時間: 9:00~17:00 入館料: 無料
② 淡路人形浄瑠璃資料館(南あわじ市市三條880番地 TEL.0799-42-5115)
令和2年2月15日(土)~3月15日(日)(月曜日休館 ※祝休日の場合は翌平日)
開館時間: 10:00~17:00 入館料: 無料

交通アクセス

